

まどか 通信



社会福祉法人 まどか

〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目7番9号

☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/>

<http://www.facebook.com/madoca1643/>

令和 5 年 8 月 1 日

第 7 2 号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(2月・5月・8月・11月 発行)



～ 小さな親切，大きな感謝 ～

理事長 神谷 和孝

私は、いつも狭い道を自転車で走行していて、先方から自転車で向かってくる人が見えたら、その場で止まって相手が通過するのを待つことにしている。

その時、相手の方が「ありがとう」や、目線で感謝していることを示されると、なんとなく嬉しくなる。反対に無表情に私の横を通過していく方がいると、なんとなく不愉快な気持ちになることがあった。

然し、無表情で私の前を通過していくことを不愉快だと感じることは、自転車を停めて相手の通過を待つ私のちょっとした親切（自分ではそう思っている）に対して、何らかの代償を求めていたからではないかと、最近は思うようになった。

私が高齢なので、周りの方が何かと気を遣って下さいますが、私はそれが嬉しくて、どんな小さな親切にも、感謝の気持ちを相手に伝えることにしている。

しかし、相手が「あなたに〇〇をしてあげた。」と言われると、それまでの感謝の気持ちが薄らいでしまうように感じる。

「小さな親切、大きな感謝」と言われていますが、どんな小さな親切も、感謝、感謝で受け止めて、その気持ちを相手に伝えることも大切だし、逆に、相手に対してどんな親切なことをしてあげたとしても、その代償を相手に要求することはしないというのを心に留めて人生を歩んでいけば、きっと良い人生を送れるのではないかと思います。



新型コロナウイルス感染症は感染症法上の分類が5類に移行されましたが、現在は市内の感染者数が急激に増えてきています。ワクチン接種や治療薬などもありますが、一番大切なことは手洗いや手指消毒、マスクなど「感染しないための基本的な対策」を改めて確認し、実践することです。「基本を確認して実践」、就職活動においても同じですね。暑い日が続きますが、熱中症対策も基本を意識していきましょう！

★利用者さん紹介★

☆新谷 晃也 さん ☆

趣味： 映画や動画を見ること

特技： **DIY**

好きな食べ物： **ラーメン、焼肉**

頑張っていきたい作業： **屋外清掃**

挑戦していることや挑戦してみたいこと： **車の運転**

意気込みをどうぞ！！



福山にあるオススメのラーメン屋があれば教えてください！



★作業紹介★



すみれ工房では、企業での就労や自分のペースに合わせた働き方をサポートする一環として、様々な作業訓練があります。

以前にも紹介していますが、加盟している『一般社団法人トータルライフサポートふくやま』を通じて、毎週金曜日の午前中に福山市総合体育館（エフピコアリーナ）公園の清掃を行っています。



今の時期、特に梅雨明けから秋頃までは暑さとの戦いです。特に今夏は地球沸騰化と言われるほど。こまめな休憩、水分補給など熱中症対策を万全に、気持ち良く公園を使ってもらえるように、細かな所も確認しながら取り組んでいます。



今回は「とまり木通信」は休刊です。

その代わりではないですけど

8月から「公式LINE とまり木」始めました

活動予定など不時定期に情報発信しますので

友達登録お願いします

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@668navhp

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



BBQ

2023. 6. 17

4月のお花見に続き

6月にBBQを開催しました。

コロナ禍の行動制限以前と比べると
まだまだ・・・ではありますが・・・

感染対策をしながらですが

少しずつ活動も戻ってきています。

参加された方みなさんは

心待ちにしていた様子で

とっても楽しそうでした！

総勢38名の参加♪

社会福祉法人 まどか 令和4年度 事業報告

(令和5年3月末現在)

○実施行事 観桜会(4月)、クリスマス会(12月)、避難訓練(9月、1月、2月) ※各種季節行事については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から自粛。	
○その他 福山市医師会看護専門学校 第一看護学科 臨地実習 受入 福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科 精神保健福祉援助実習 受入	
障害福祉サービス事業(すみれ工房)	
就労移行支援事業(定員:6名)	就労継続支援(B型)事業(定員:14名)
○利用者の状況 利用契約者数:3名(男性3名、女性0名) 平均年齢:40.67歳、一日平均利用者数:3.84人 就労者数:8名 ○職員の状況 管理者1名(兼務) サービス管理責任者1名(兼務) 就労支援員 常勤1名、職業指導員 常勤1名、 生活支援員 非常勤1名(兼務)	○利用者の状況 利用契約者数:31名(男性24名、女性7名) 平均年齢:42.19歳、一日平均利用者数:14.71人 年間平均月額工賃:13,882.8円(時給換算 292.1円) ○職員の状況 管理者1名(兼務) サービス管理責任者1名(兼務) 職業指導員 常勤1名、生活支援員 常勤1名 目標工賃達成指導員 非常勤2名(内1名兼務)
就労定着支援事業	
○利用者の状況 利用契約者数:3名(男性3名、女性0名) 延べ来所面談件数:8件、延べ電話相談件数:17件、延べ企業訪問件数:6件 ○職員の状況 管理者1名(兼務) サービス管理責任者1名(兼務) 就労定着支援員 常勤1名	
地域活動支援センター事業(とまり木)	
○利用者の状況 利用契約者数:54名(男性32名、女性22名) 一日平均利用者数:13.95人 ○職員の状況 施設長 常勤1名 生活支援員 常勤1名、非常勤1名	○実施プログラム ミーティング(毎月1回) スポーツレクリエーション(感染状況により自粛あり) ※調理実習および各種季節行事については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から自粛。

社会福祉法人 まどか 令和4年度 決算報告

(令和5年3月末現在 単位:円)

貸借対照表

資金収支計算書

事業活動計算書

科目名	合計
資産の部	
流動資産	34,226,603
固定資産	53,120,180
資産の部合計	87,346,783
負債の部	
流動負債	4,111,187
固定負債	11,174,000
負債の部合計	15,285,187
純資産の部合計	
基本金	3,424,478
国庫補助金等特別積立金	17,250,791
次期繰越活動収支差額	51,386,327
純資産の部合計	72,061,596
負債及び純資産の部合計	87,346,783

科目名	合計
事業活動による収支	
事業活動収入(1)	52,196,028
事業活動支出(2)	48,485,126
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,710,902
施設整備等による収支	
施設整備等収入(4)	0
施設整備等支出(5)	938,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 938,000
その他の活動による収支	
その他の活動収入(7)	59,544
その他の活動支出(8)	45,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	14,544
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,787,446
前期末支払資金残高(12)	28,215,970
当期末支払資金残高(11)+(12)	31,003,416

科目名	合計
サービス活動増減の部	
サービス活動収益(1)	49,812,039
サービス活動費用(2)	49,882,214
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 70,175
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益(4)	2,383,989
サービス活動外費用(5)	71,923
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,312,066
経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,241,891
特別増減の部	
特別収益(8)	239,800
特別費用(9)	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)	239,800
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,481,691
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	48,904,636
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	51,386,327
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	51,386,327

滝山病院事件を通して

バラ会副会長 田和桂子

2023年2月、東京都八王子市の精神病院滝山病院で看護師らによる入院患者への暴行事件が発生しました。家族は必死の思いで本人を精神科医療につなぎ、最終的には入院可能な医療機関を頼らざるを得ない状況に至ることも稀ではありません。このような中、滝山病院で起きた人を人とも思わない行動に私たちは心を痛め、大きな憤りをもってこの事件を受け止めました。

しかしながら、この滝山事件は単なる個別の虐待問題・人権侵害として終わらせるのではなく、「日本の精神科病院が抱える構造的問題」ととらえ、このような事件を起因させた構造を深く掘り下げていかなければ解決の糸口は見出されず、同じような事件が繰り返されることでしょう。

精神疾患患者を抱えた家族は差別・偏見の根強い地域の中で孤立しがちです。そのような中、私たち家族は当事者の回復を願って無理やり入院させるということもあります。一方、日本精神科病院協会の山崎会長は、この度の滝山事件に対しては非を認め謝罪していますが、「入院がたとえ長期に渡ろうと、病院しか患者を引き受ける場所はない。患者を必要に応じて隔離したり拘束したりすることは人権侵害とは言えない。」と切り切っています。

地域の中で精神疾患患者は居場所がなく、何らかの事情で当事者を抱えきれなくなつた家族は病院を頼るしかない（病院の言いなりになるしかない）という社会構造こそ人権を軽視する病院を放置してしまうのではないのでしょうか。

まず、当事者が地域で安心して生きていける社会があって、自活していくための支援制度が充実しており、必要に応じて医療機関を利用できるような状況が実現して初めて、滝山事件のようなことが抜本的に解決されるのです。

全国精神保健福祉家族会連合会はこの度の事件を通して厚生労働大臣宛に以下の 4 項目の要望を提出しています。

【要望 1】 滝山病院事件の実態調査と報告、責任者の処分と病院運営の改善

【要望 2】 精神科病院の入院患者への適切な医療・ケアの改善

【要望 3】 開かれた精神病院の実現

【要望 4】 **精神科医療制度・政策の抜本的な改革**

精神科医療を取り巻く現実には様々な課題を抱えています。『地域で支える精神科医療』を実現するために、医療と福祉の連携や支援体制の構築が現在の課題として挙げられます。2021 年 10 月には「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会」も開かれています。このような動きを私たちは検証し、要望を発信し続けることのできる賢く、強い家族会でありたいものです。

共に学び、日本の精神医療の変革に向けてともに歩んでいきましょう。

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

★ 法人まどかへの善意

・岡田美枝・高橋恵子

★ 法人まどかへのボランティア

・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

★ 福山市精神保健福祉家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

2021(c) Social Welfare Corp.madoka

仕事を探しています

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

ボランティア

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の予定（令和5年8月以降、令和5年10月まで）

9月	避難訓練
8月～9月	福山平成大学精神保健福祉援助実習受入
その他、事業所毎に感染症対策をしつつ実施していきます。	

編集後記

今年の夏の厳しい暑さで、気温は40度近くに達しており、とまり木の施設の冷房も効きが悪く30度近くまで上がっています。このような状況で熱中症に気をつける必要があります。エアコンを取り付けられない住環境や路上生活者の困難な状況もあります。私たちにできることなにかあるのでしょうか？

最近は日々こんなことを考えています。暑さもあと少し体調管理してもう少し頑張らしましょう。

（とまり木 施設長 長谷川）

QRコードが
新しくなりました♪

Facebook



HomePage

